

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災令和3年11月24日
四国地方整備局
四国山地砂防事務所

ドローンを用いた空中電磁探査の実施

～徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区における地すべり対策について～

地すべり対策として地下水の分布状況を把握するための調査として、ドローンを使用した空中電磁探査を以下の日程で実施いたします。また、今回の調査では、国土技術政策総合研究所の視察を予定しております。

実施日：11月25日（木）午後※予定

四国山地砂防事務所では、平成30年7月の西日本豪雨及び令和元年8月台風第10号による豪雨で地すべりの滑動が活発化した、徳島県三好市西祖谷山村有瀬地区において、地すべり対策事業を実施しています。この箇所では、地すべり滑動が活発化すると、下流に流れる河川に土砂が流下し被害を及ぼすおそれがあることから、これまでに、徳島県と連携しながら地すべりの要因となる地下水の排水工法を実施してきました。

今回の調査は、空中電磁探査と言われる技術で人工的に発生させた磁場が地盤に透入する際に生じる現象を利用して、地盤の電気的性質を調査する方法です。岩盤や土と水では電気的性質（比抵抗）が大きく異なるため、この現象を解析することにより、地下の状況（特に地下水の分布状況）を推定することが可能となります。

本調査結果を活用することにより、予定している排水トンネル工事の効果的な集水が期待できます。本調査は二時期の調査を計画しており、7月の調査に引き続き2回目となります。

【調査概要】

■ドローンの飛行

- ・ドローンは地上から50m～140m程度の高度、時速20～30km程度で飛行します。
- ・ドローンは、調査区域内を複数回飛行します。

■調査で使用する電磁波について

- ・使用する電磁波は弱く（テレビの100分の1）、人体や動物及び、ペースメーカーやテレビ等の電気機器への影響はありません。



ドローン飛行イメージ

問い合わせ先（◎：主な問合せ先）

国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所 TEL:0883-72-5400

副所長（技術）

吉岡 修一（内線 204）

調査課長

高原 晃宙（内線 351）◎

建設監督官

笠井 庸宏（内線 6541）祖谷地区